天上編 宇宙皇子（うつのみこ）



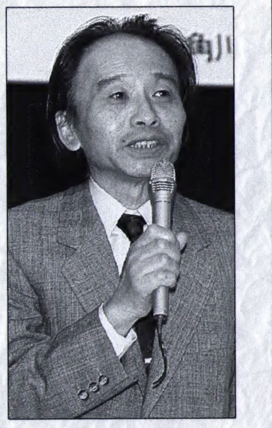
臨兵闘者皆陣列在前



原作者からのメッセージ

藤川桂介





僕がシナリオライターだった頃、何が一番厭だったかというと、あまりに原作者が色々な事を言い過ぎて、スタッフにある制約が出来てしまう事でした。そういう経験を沢山して来ましたので、小説を書き出してからは、映像になる時は少なくとも理解のある原作者でいようと、基本のところだけは外さないようにしてもらいますけど、後は割に自由にやってもらうという姿勢をこれまで保ってきました。

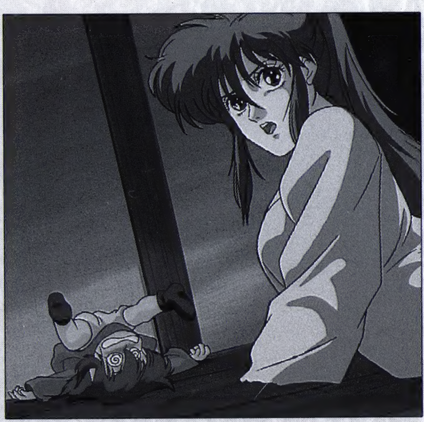
この『天上編・宇宙皇子』の監督の今沢哲男さんという人は、僕がアニメーションをこの辺でそろそろ打ち切りにして小説に行こうと思ったころ出会った「六神合体ゴッドマーズ」の監督です。アニメーションの最初の頃に出会ったプロデューサー横山賢二氏と、最後に出会った監督と一緒に仕事が出来て、そういう意味でも嬉しいなあと思っています。

『天上編・宇宙皇子』は地上で学んだことを天上に行って確かめる、一番素晴らしい世界を先に見るという意味があります。それを見た彼らが再び地上へ戻り、それをもとに自分たちの生き方をどうしたらいいのかを考えていく編です。それを基本に、宇宙皇子、各務それぞれの生き方を発見しながら庶民のためにどういうふうな世界を作るのが自分たちの理想になるのか、さらにいろんな経験をしていくきっかけになるだろうと思います。

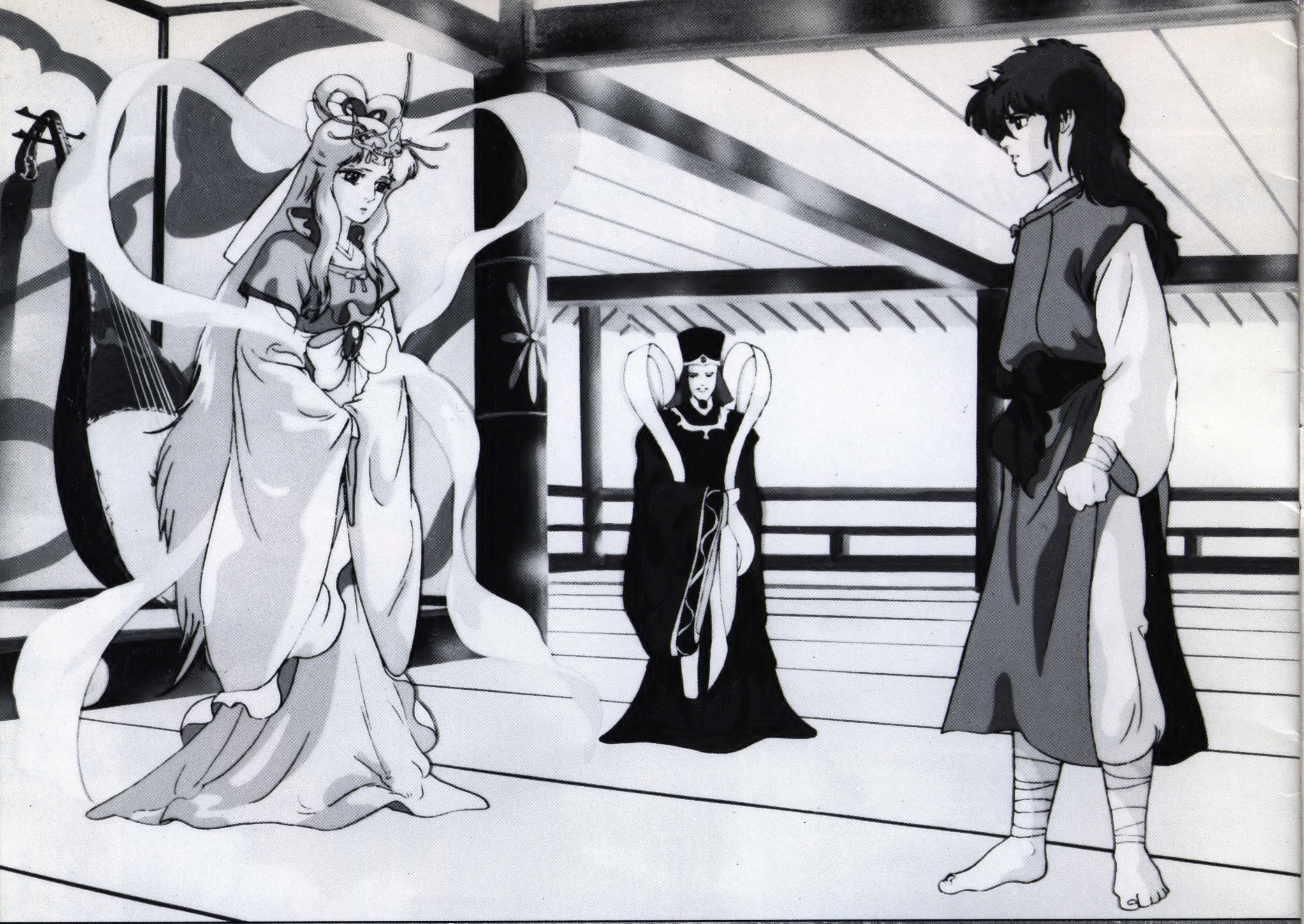
映像化されて、また新たなファンがついて、そういう人達から色々な声が寄せられると、これから僕が作業していく上で大きなエネルギーになってくれるし、一作よりも二作、二作よりも三作と、作品を作るたびに完成度の高いものにしていく上での参考にもなります。

プロフィール

1934年6月16日、東京生まれ。
慶応大学在学中よりラジオドラマの脚本を書き始め、卒業と同時にシナリオライターとなる。その活躍の場は、DJ台本、作詞、ドラマ（「怪奇大作戦」など）およびアニメの脚本、舞台構成と幅広く、小説家としての代表作「宇宙皇子」はベストセラーである。その特異な舞台設定、ダイナミックな物語性など独特の世界を築き、多くの読者の心をつかんでいる。
（代表作）「マジンガーZ」「六神合体ゴッドマーズ」「宇宙戦艦ヤマト」（以上テレビアニメ）「宇宙皇子」「天之稚日子」「幻想皇帝」（以上小説









で旅立った宇宙皇子、各務を見舞う荒ぶる神々の試練！



臨兵闘者皆陣列在前





黄金の天翔船





解説

「宇宙皇子」は藤川桂介の代表作ともいうべき人気小説シリーズで、これまでカドカワノベルス、角川文庫あわせて一〇〇〇万部以上の発行部数を誇る大ベストセラー。第一部「地上編」一〇巻、第二部「天上編」一〇巻、さらに現在執筆中の第三部「妖夢編」、そして、「拾異伝(外伝)」を含めて全六〇巻構想の大河小説です。

'89年春には、第一部「地上編」が劇場用アニメーションとして製作・公開され、その後のビデオ化でも大ヒット作品となりました。

今回の「天上編・宇宙皇子」の映画化では、その後を受けて「地上編」第一〇巻から、第二部「天上編」第四巻までのエピソードをまとめ、前作をはるかに凌ぐスケールと大胆な構成で映像化されました。

星暦六七二年。壬申の乱の中に生まれた頭に角を持つ一人の少年〝宇宙皇子〟を主人公に、力なき人々の幸せを夢みて、圧政をしく権力者と戦ってゆく様を古代日本史の中でファンタスティックに描き出した地上編に続き、宇宙皇子そして遊鬼士たちは、鳳凰の形をした黄金に輝く天翔船を駆って時空を超えた天上への旅に出かけます。そして阿修羅王、帝釈天といった荒ぶる神々の支配する天上界を旅しながら、様々な困難にいどみます。宇宙皇子の角は、宇宙と地上の合体を象徴し、その宿命を背負って生まれてきたからこそ、様様な神々と出会い、別れ、また巡り合い、その中で皇子は少しずつ成長していきます。その姿をダイナミックな映像と華麗な音楽で描く壮大なアニメ・ファンタジー、それが『天上編・宇宙皇子』です。

また、『天上編・宇宙皇子』は、原作の持つ世界観＝宇宙皇子ワールドを最高の状態でビジュアライズするため、またキャラクターの魅力を最大限に開花させるため、新スタッフを起用し、この壮大なストーリー表現に挑みます。

監督は、TVシリーズ『六神合体ゴッドマーズ』、TVスペシャル『三国志』、劇場版『魁!!男塾』、ビデオ・シリーズ『ヤンキー烈風隊』などのベテラン、今沢哲男。宇宙皇子とヒロイン各務の揺れる心情、そして日本人の心の中にある天上のイメージをアクションをおりまぜたフィルムのなかに展開しています。

いのまたむつみのイラストをもとにキャラクター・デザインと作画監督を務めたのは、『北斗の拳』『聖闘士星矢』などのアクション派、山崎展義。美術には、日本古来の風景や建築の持つ美しさの表現を得意とする『龍の子太郎』の松本健治が担当しています。

製作には、原作の出版元である角川書店と、今やアニメビデオ・リリースのリーダー的存在であるバンダイ、さらにテレビ東京の三社が、製作協力には『銀河鉄道999』の東映動画があたっています。

（上映時間・1時間11分）

キャラクター紹介





宇宙皇子（うつのみこ）

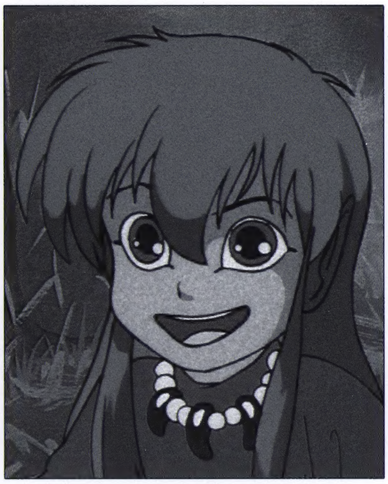
北天の星の神に命を授けられた神の子。頭部にその証しである鬼のような"角"がある。金剛山で修行をするうちに霊力を発現するようになる。なよ竹のかぐや姫の昇天を手助けしたことにより、朝廷から追われて、天上界へ旅立つことになる。





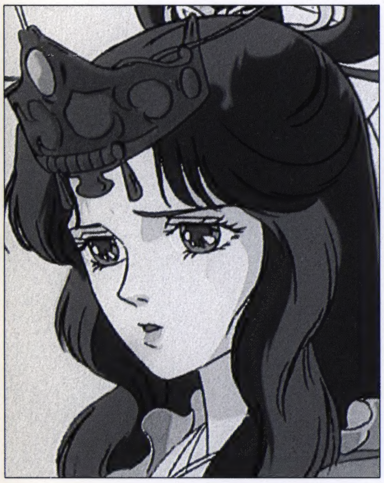
各務（かがみ）

幼くして金剛山にひきとられてきた皇子の修行仲間。共に天上界へと旅立つ。皇子を強く慕っているが、帝釈天にその汚れなき身を奪われてしまう。



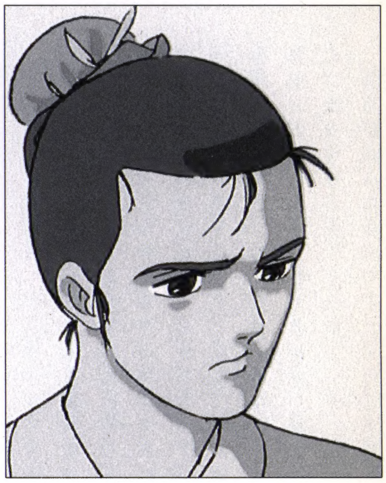
キジムナー

皇子と各務が、神々の島を探して阿児奈波（今の沖縄）へ旅したとき、出会った神籍を脱落した者。眠っている人から魂を抜き取ることができる。



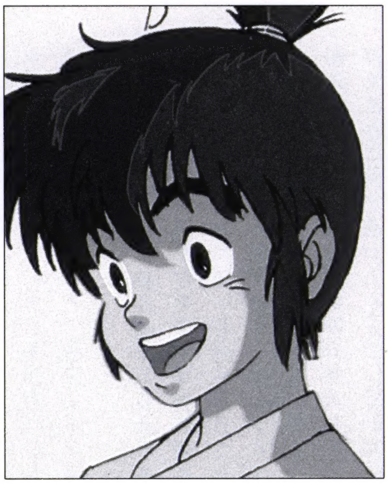
なよ竹のかぐや姫

もと天上界の戯女市の遊女であったが、罪を背負って地上界へ遣わされている。清冽な生きかたをする皇子と巡り会い、月への昇天というかたちで再び天上界に転生する。しかし、転生の際に天上界の約束事で、全ての記憶を失ってしまう。



苦須里（くすり）

遊鬼士と呼ばれる皇子の修行仲間のなかで、リーダー的存在。慎重な性格で、いつも皇子の行動を抑えたり、見守っている。



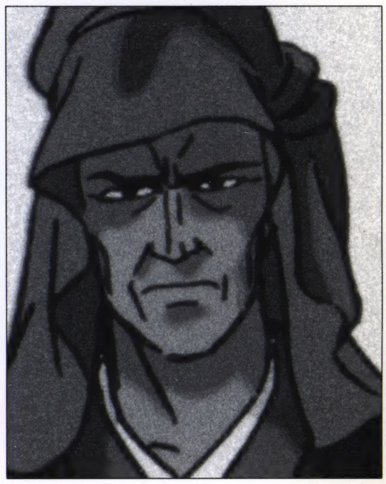
田加良（たから）

遊鬼士の一人。敏捷（びんしょう）・せっかちで、言動は軽いが、心の内では皇子を超える存在になれないものかという望みを持っている。



釣（つり）

遊鬼士の一人。おっとりした性格の巨漢。



役小角（えんおづぬ）

金剛山で修行者を率いて行動する聖人。宇宙皇子の心の師で、天上界への天翔船での修行の旅を命じる。素晴らしい超常能力の持ち主でもある。



阿修羅王（あしゅらおう）

阿修羅一族の王。一万年前、帝釈天に娘の舎脂（しゃし）を奪われたため戦いを挑んだ、もともとは正義の神。しかし、神々の裁きを受けて、天上界の海底におとしめられている。



帝釈天（たいしゃくてん）

天上界の上層、忉利天（とうりてん）にいる三十三天の一天で、神々の中の帝王。千眼天であり、神仏の荒魂（あらみたま）を具現する勇猛無双の戦士でもある。阿修羅王の天上界復帰を願い出る皇子を凄じい力で圧倒する。

臨兵闘者皆陣列在前

物語

平安京の時代。金剛山には霊験者、役小角の下に修行者たちが集まり、心身の鍛錬と同時に、戦乱と貧困に苦しむ庶民の救済に努めていた。そのなかに、頭に神の子である証しの〝角〟を持つ少年、宇宙皇子がいた。

彼は修行の中で、次第に霊力を発現するようになる。また、庶民の救済を続けるうちに、都で政治を司る者たちのきらびやかな暮らしが、眼にとまるようになる。それは圧政に苦しむ人々の暮らしとは、あまりにもかけ離れたものだった。庶民の真の救済を行うためには、政治の流れを変える必要があった。

皇子は単身、時の権力者である藤原不比等の暗殺を試みる。しかし、朝廷の兵の返り討ちにあい、深手の傷を負って意識を失ってしまう。気がつくと、彼は心に迷いを持つ者がさまよいこむといわれる「無明荒野」にいた。そして、彼と同じようにさまよう〝姫君〟と出会った。

それは、〝神との出会い〟だった。皇子の心のなかには、いつの頃からか、父である北天の星の神に会いたいという強い願いがあった。父ではなくとも、神と会いたい……。それが、このような出会いに彼自身を導いてしまったのである。

皇子の意識は、小角の力で無明荒野を脱すると、現世に引き戻された。

そのころ、都では「なよ竹のかぐや姫」の噂でもちきりだった。皇太子である首皇子をはじめとして何人もの求婚者がいるのだが、誰も相手にしないで、何かをひたすら待ち続けているらしい。そして、まもなく望月の夜に月からの使者がやってきて、昇天してしまうということだ。

皇子の修行仲間であり、皇子にひそかな思いを寄せている少女、各務は、キジムナーのみちびきで、なよ竹と出会う。そしてなよ竹が昇天の前に、無明荒野で出会った〝宿命の許婚〟である皇子に、現世である地上で会わなければならないことを知る。各務は哀しみを隠して、皇子になよ竹のことを告げる。

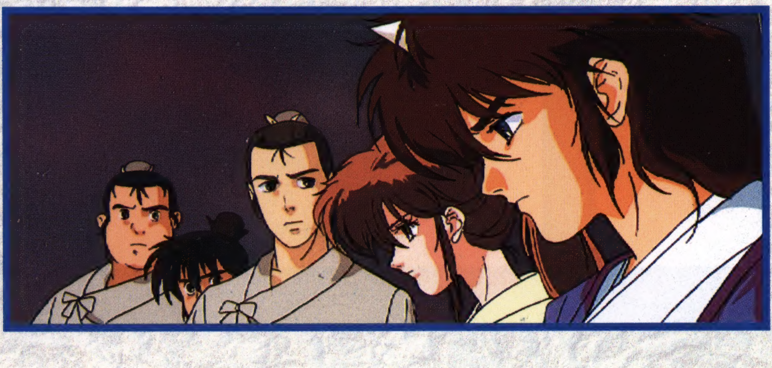
望月の夜、なよ竹のところには、月からの使者を追い払うために朝廷軍がさしむけられてくる。皇子はその妨害を退けて、なよ竹と〝再会〟











した。そして、なよ竹は無事に月へと昇天していった。
度重なる反逆行為に業を煮やした朝廷は、皇子追放の命を下し、金剛山に派兵してくる。皇子は、小角の指示に従い、各務ら仲間とともに天翔船にのりこむと、神々と出会うために、そして北天の星めざして天上界へと旅立った。

天上界の入り口ともいえるところで、皇子たちは、天上界の上層、「忉利天」から不当におとしめられている阿修羅王と出会う。阿修羅王は皇子に、天上界が〝荒ぶる神仏の世界〟であることを諭す。皇子は「忉利天」に赴いて、阿修羅王の天上界復帰を申し出ることを誓う。

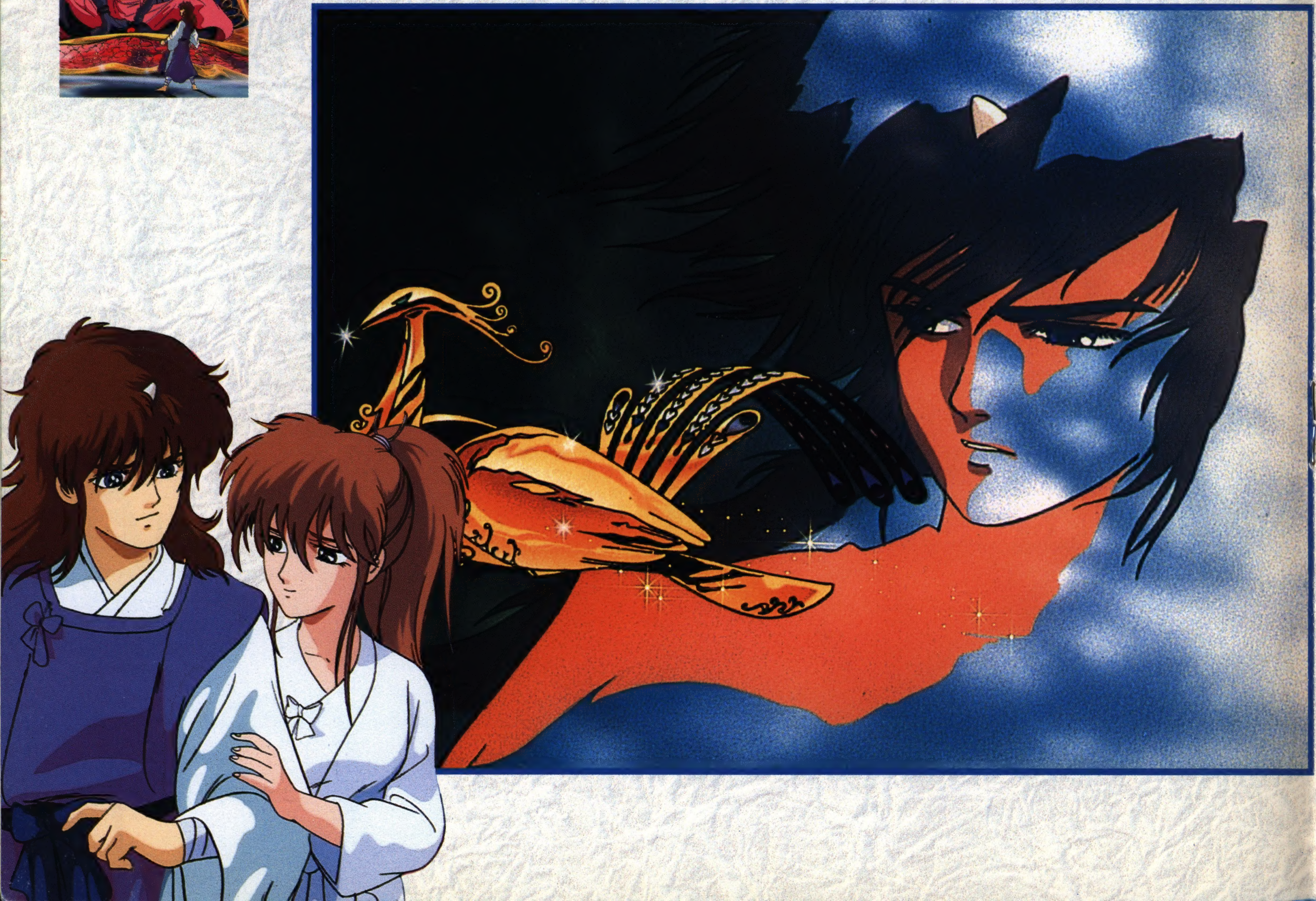
月の宮殿に到着する天翔船。皇子はなよ竹と再会する。ところが、なよ竹は昇天のときに、それまでの記憶を全て失っていた。驚く皇子は、失意のうちに戯女市に転移してしまう。なよ竹は、もとはこの戯女市の遊女だったのである。なよ竹の過去を知るにつれて、皇子のとまどいは消えていく。さらに、皇子を追ってやってきた各務に再会すると、いつも傍らにいて、自分を見守ってくれている各務の気持ちに、皇子はあらためて気づかされるのであった。いずれ宿命の許婚であるなよ竹とは、再びめぐりあう時がやってくるかもしれない。しかし、今は各務と、そして他の修行者の仲間たちと旅を続けよう。新たな決意とともに、皇子は月を後にする。

天翔船は、いよいよ「忉利天」にやってきた。そして皇子は善見城にある殊勝殿で、神々の王、帝釈天と謁見することになる。皇子は、阿修羅王の天上界復帰を申し出たが、そのことばは、帝釈天ら三十三天の神神の怒りを買ってしまう。地上界のものさしで神々の行為をはかろうとするおろか者として、皇子は牢に幽閉されてしまった。

一方、ひとり、「星狩り場」でその美しさに魅せられていた各務は、突如あらわれた帝釈天に、その汚れなき身を奪われてしまう。皇子は牢のなかでこの異変を察知するが……。

宇宙皇子よ、北天の星をめざして、行け!

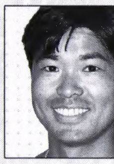




出演者からのメッセージ







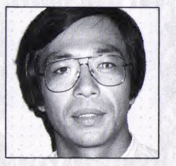
古谷徹■宇宙皇子

何といっても映画では、皇子の姿がセクシーで格好良いものですから、声を出せるのが楽しみです。皇子のように情熱的で一途な面を持っていて、なおかつちょっとクールというかスマートな上品さを出せるキャラクターというのは、あんまりやったことがなかったものですから、もうこれで一気に声優・古谷徹は大人の役に幅を広げるのではないかと思って臨んでいるんですけど（笑）。



山田栄子■各務

原作に比べ、各務の心情みたいな部分が短く描かれている中で、どうセリフを言ったら良いのかと苦労しています。あと、やけに前の映画の時よりも美しく描かれているので照れ臭いですね。



田中秀幸■苦須里

遊鬼士達の一人として天上界で様々な試練を受けているんですけれども、作品のスケールの大きさに圧倒されています。



塩谷翼■釣

最近思っているのは、割りと太った役が多くなってきたなあという(笑)、役柄に外れないように頑張っています。

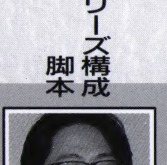
スタッフからのメッセージ



監督 今沢哲男

「今回の『天上編宇宙皇子』は、仕事のお話をいただいた時から緊張しています。原作の藤川桂介さんとは『六神合体ゴッドマーズ』等長いつきあいですし、原作のスケールが壮大で、アニメの手におえるだろうかというのが第一印象でした。天上界の誰も見たことのない神秘さ、宇宙皇子のひた向きさ、仲間のすがすがしさや生きざまが小説と違う映像の魅力の面で出せればとがんばっています」。

〔代表作〕「六神合体ゴッドマーズ」（TV・シナリオ／藤川桂介）「少年ケニア」「魁!!男塾」（劇場用映画）「ヤンキー烈風隊」（OVA）



シリーズ構成 脚本 武上純希

「壮大なスケールで広がる原作を、どこまでアニメというドラマ空間に移植できるか。藤川先生の原作は、セリフにも入念な気持ちを込めてあるので、そのセリフのニュアンスをこわさずに、各キャラクターを描くつもりです。宇宙皇子と各務の想いは、原作だと修験者同士の想いなんですが、アニメでは少しロマンティックな要素が俳優さんという肉体が入ることでふくらむ感じがしています」。

〔代表作〕「幻夢戦記レダ」（OVA）「スケバン刑事Ⅲ・少女忍法帖伝奇」（TV）



堀川　亮■田加良



田加良は人間だから、(物語の)最後にはおじいさんになるんだよと言われましたので、その時の老人役に賭けてみようかなと思っています(笑)。

三田ゆう子■キジムナー



私としては久し振りにかわいらしい役なんですけど、小生意気な神のはしくれという事で、かわいさが出れば良いなと考えています。

富永みーな■なよ竹のかぐや姫



なよ竹のような"美しい"役は大の苦手なので、決まった時はどうしようかなと思い、迷いながらやりました。完成品を見た時、少し恥ずかしかったですけど、今ではこんな美しい役が出来て光栄です。

銀河万丈■帝釈天



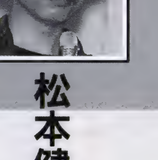
帝釈天は、どこかに悲しみがあるような感じがするんです。人間界の形で言いますと、(自分もそうなので)さそり座じゃないかと(笑)。

作画監督　山崎展義



「自分としては、テレビ以外のアニメは初めてですが、代表作にするつもりで、キャラクター・デザインだけではなく、作画の表情やアクションの仕上げにもがんばるつもりです。最初に、この話をいただいた時、自分がこの仕事をとびっくりしました。自分の絵としてのクセをなるべく押さえて、いのまたむつみさんの線を狙ってみたつもりです。ファンが気に入ってくれるといいのですが……」
〔代表作〕「聖闘士星矢」「北斗の拳II」「魁!!男塾」(以上TV)

美術監督　松本健治



「天上界を描くにあたって、まず最初に考えたのは、一つの死を越えた世界、人間の中にあって静かな、精神的な世界を美術と背景で描ければと思っています。
現実からどれだけ虚構に向かって翔ばしていけるか、軽やかに、華やかなフィルムに映像化していきたい。万人向けというより、本当に判っている人が納得してくれるレベルにしていきたい!」
〔代表作〕『龍の子太郎』(劇場用映画)「北斗の拳」(TV)

豆辞典



星狩り場

阿修羅島と忉利天との中間に位置し、天空から落ちてくる氷のような岩を狩る場所。その美しさに見とれた各務を帝釈天は奪う。



善見城（ぜんけんじょう）



神々の帝王である帝釈天の居城。宇宙皇子は謁見を申し出て、生身の者としては初めて足を踏み入れる。

怨念の島（おんねんのしま）

以前は阿修羅一族の島であったが、忉利天から追われた阿修羅王の想いが怨念となって残っている。忉利天に乗り込む宇宙皇子たちの拠点となる。

金剛山（こんごうざん）

聖人・役小角を中心に、あらゆる民衆の幸せを夢みる修験者たちが修行を積んでいる場所。現在の奈良県に位置する。

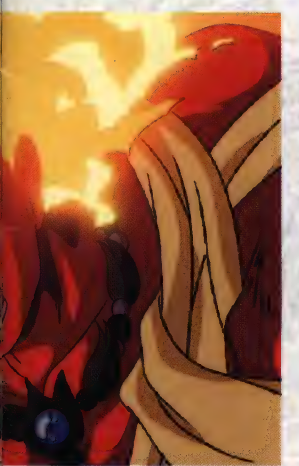
戯女市（げじょいち）

天上界の遊女町。なよ竹は以前ここの遊女であった。宇宙皇子は、なよ竹の過去を知るため、ここに迷いこむ。



不動明王（ふどうみょうおう）

怒りの表情を持つ仏法の守護神・明王のひとり。右手に剣、左手に縄、火炎を背負う。宇宙皇子の怒りが最大限に達した時に化身し、すばらしい超能力を発揮する。



天馬

天上界を駆ける馬。翼はないが、自在に空を駆け回る。



舎脂（しゃし）

阿修羅王の娘で、帝釈天に辱めを受ける。阿修羅一族は、その不正を正すため戦いを挑むが、忉利天を追放される。



天翔船

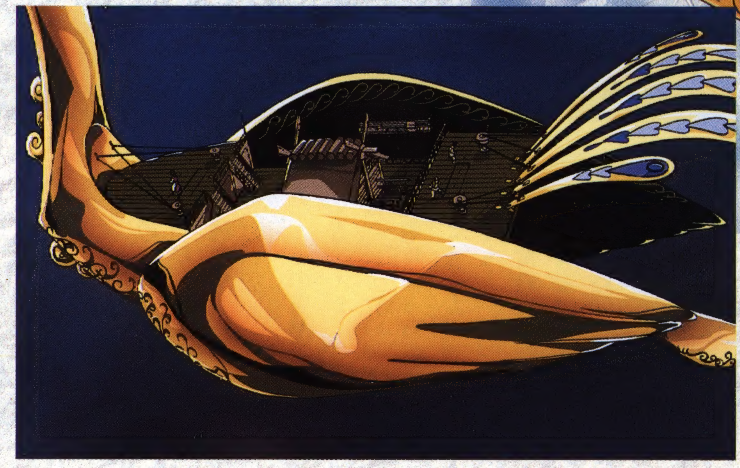
役小角が金剛山の奥でひそかに建造していた天空を駆ける天翔船。自分の使命に悩む宇宙皇子を前に、役小角はこの天翔船を宇宙皇子に与えて天上界をめざさせる。飛行を始めると翼を広げ、金色に光り輝いて翔ぶ神船。(デザインは板橋克己)



遊鬼士（遊鬼道士）

金剛山で修行を積む修験者"遊鬼"から昇格した宇宙皇子の仲間。各務、苦須里、釣、田加良。





忉利天

天上界の上層にある神仏の支配する天界。帝釈天を始めとする三十三天がいる場所。

北天の星の神

宇宙皇子に生命を与えた父神。宇宙皇子の角はその証しである。後に、神域にたどりついた証しとして七星剣を皇子に与える。



藤原不比等

朝廷の実権を握る関白で強大な王国をめざす政治家。苦しむ人々より強力な国力を優先する人物。宇宙皇子が戦う相手だが、単なる悪人ではない。



流民王国

朝廷の圧政から人々を救う夢の国。これを作るのが宇宙皇子の使命である。皇子は天上界へ向かうべきか、使命を全うするべきか苦悩する。

九字の呪文

密教の呪文の一種で、これを唱えることによって宇宙皇子および遊鬼士たちは超越したパワーを発揮する。

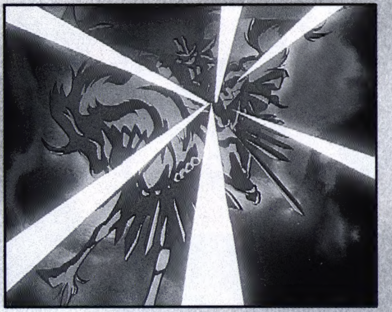


臨兵闘者皆陳列在前

プロダクション・ノート







◯「天上編宇宙皇子」は、この前の劇場版とはスタッフを一新することになり、プロデューサーである横山賢二・小湊洋市、監督の今沢哲男など、原作者である藤川桂介のアニメ・シナリオライター時代にゆかりのあるメンバーが参加している。これにより、原作を的確にフィルムで再現することが可能となった。

◯といっても、キャストに関しては、主役の宇宙皇子は前作及びカドカワ・カセットブックでファンの間にできあがっているイメージを重視して、三度（みたび）、古谷徹があてている。古谷徹は、本人自身が原作の熱烈なファンであるため、アフレコには、いつにもまして熱がはいっている。「巨人の星」、「機動戦士ガンダム」そして「聖闘士星矢」とならび、「宇宙皇子」は彼の代表作となるといっても過言ではないだろう。

◯メイン・スタッフは、単に日本古来の自然や建築だけでなく、その地の持つ雰囲気や神仏の心像をつかもうと金剛山などへ現地取材をおこなった。苛酷な制作スケジュールのなかで、天上界には取材出来ないのが残念、というジョークではすまされない（？）発言もとびだして……。

◯その苛酷な制作体制のなかでも、もっとも手間のかかっている作業のひとつが、「透過光」などの一連の光を使った撮影処理である。それらは、なよ竹の昇天のシーンや、皇子が霊体を飛ばすときなど独特の画面効果にあらわれている。

　こうした処理は、いったんセル画と背景を撮影したフィルムを巻き戻してもう一度、今度は光のみを撮り直す（重ね撮りする）といったような通常の撮影作業の倍以上の労力が費やされている。光が何色もあったり、特定のセルのみ露出を変えるとなればさらに重ね撮りの回数も増えているわけだ。そこには、ハリウッドの大作SFX映画と同じであったり、場合によっては、より高度なテクニックも投入されている。そうしたカメラ・ワークの生みだす華麗な画面効果も、このフィルムのみどころである。



■キャスト

宇宙皇子 ………古谷 徹
各務 ………………山田栄子
苦須里 …………田中秀幸
田加良 …………堀川 亮
釣 ………………塩谷 翼
キジムナー ……三田ゆう子
なよ竹のかぐや姫……富永みーな
阿修羅王 ………岸野一彦
帝釈天 …………銀河万丈
役小角＆
ナレーター ……柴田秀勝

■スタッフ

製作 …………角川春樹(角川書店)
山科 誠(バンダイ)
国保徳丸(テレビ東京)
企画 …………田宮 武(角川書店)
鵜之沢伸(バンダイ)
倉益琢眞(テレビ東京)
プロデューサー…横山賢二(東映動画)
小湊洋市(東映動画)
高野 顕(角川書店)
飯島佐知子(バンダイ)
岡 哲男(テレビ東京)
原作 …………藤川桂介(角川書店刊)
監督……………………今沢哲男
梅澤淳稔、吉沢孝男
シリーズ構成…………武上純希
シナリオ………………武上純希
富田祐弘
キャラクター原案 ……いのまたむつみ
キャラクター・デザイン／作画監督
………………………山崎展義
上野ケン、宇佐美皓一
美術監督………………松本健治
撮影監督………………玉川芳行
音楽……………………川崎真弘
主題歌 …「未来への神話」「蒼い瞳の中に」
作詞：荒木とよひさ
作曲：都志見隆
歌：浜田良美
（コロムビア・レコード）

発行／角川書店
発行日／1990年 9 月22日
編集・レイアウト（株）メイジャー
定価／400円(税込み)



KADOKAWA OVA

空前の大反響！日本初の"ロールプレイング・ムービー"登場!!

ロードス島戦記 全13巻

オリジナル・ビデオ・アニメ
原作●安田 均・水野 良（角川スニーカー文庫）
各巻4,800円（税込）／30分カラー／VHSのみ
キャラクター原案■出渕 裕　キャラクター・デザイン■結城信輝
メインテーマ「風のファンタジア」■歌：sherry（ビクターレコード）
声優●草尾 毅（パーン）／榊原良子（カーラ）／田中秀幸（スイレン）／池田秀一（カシュー）
冬馬由美（ディードリット）／神谷 明（アシュラム）

9月30日発売 第3巻「黒衣の騎士」 以下毎月発売予定

絶賛発売中!! 第1巻「伝説への序章（プロローグ）」／第2巻「炎の出発（たびだち）」

SALES ONLY

※このビデオはレンタル店では使用できません。



天上編 宇宙皇子（うつのみこ） 全6巻

原作●藤川桂介（カドカワノベルズ・角川文庫）
全巻一括払いサービス価格27,000円（税込）（特価期限11月末日まで）
各巻4,800円（税込）／30分カラー／ステレオHi-Fi／VHSのみ
キャラクター原案■いのまたむつみ
総監督■今沢哲男
声優●古谷 徹（宇宙皇子）／山田栄子（各務）
三田ゆう子（キジムナー）／富永みーな（なよ竹）

10月25日発売 第1巻「皇子よ！今こそ旅立て」 以下毎月発売予定

ファン待望の完全新作オリジナルビデオシリーズ!!



藤川桂介　角川文庫

宇宙皇子（うつのみこ） ①470円②③⑥〜⑩500円④560円⑤520円

天上編**宇宙皇子（うつのみこ）** 全10巻 ①⑧500円②④〜⑦⑨⑩470円③520円

拾異伝宇宙皇子1 **影兵士（かげつわもの）「風」** 430円

拾異伝宇宙皇子2 **天翔鬼小子辺（てんしょうきちいさこべ）** 430円

水野 良／安田 均　角川スニーカー文庫

ロードス島戦記 全4巻 ①③430円②500円④470円

RPGリプレイ**ロードス島戦記 I・II** ①390円②500円

※定価には消費税が含まれています。

角川書店 〒102 東京都千代田区富士見2-13-3 ☎03(817)8521(営)／振替東京3-195208
お問い合せは☎(03)817-8535 角川書店通信販売課